

縦0.9m×横1.8mの両面式



津別高校3年生が1年かけ完成・設置

## 新しい学校の看板できたよ！

材料のカラマツ材は、北見広域森林組合津別事業所の提供を受けた。22日は3年生が取付作業もこなし、設置を完了。新しい看板の設置を提言した柏葉幸音さん（同）は「ようやく形になりうれしい。看板を見て、津別高校に行きたいと思つてくれたら」と話した。

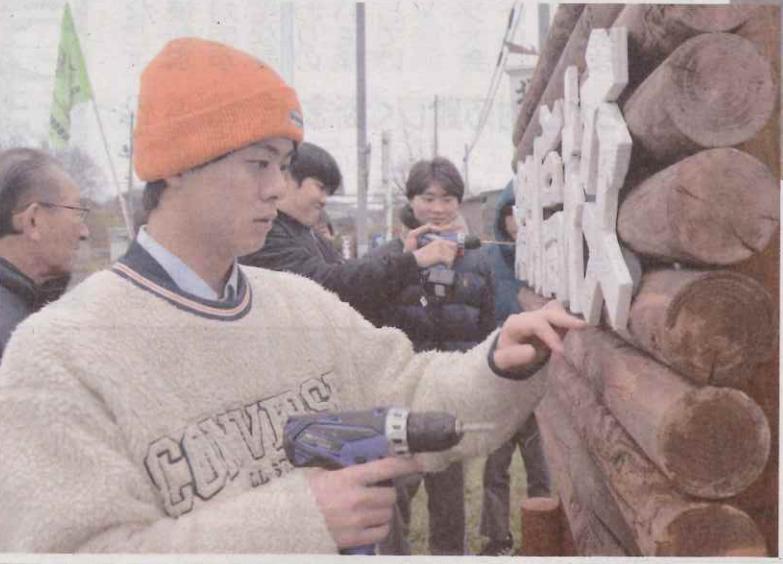
(浩) (浩)  
8版。「津別高校」の文字をライトで明るく照らすデザインで、門脇業央さん（3年）が発案した。高校側の面は、木材を切り抜いたアルファベットを1文字ずつ張つぱいに表現。橋本悠さん（同）がデザインした。

第75回卒業生一同

津別高校の3年生がアイデアを出した。高校の新しい看板が完成し、22日、高校入り口の国道240号沿いに設置した。木材の温かみを生かしたデザインで、2年生の時に提言し、1年近くかけて完成した。津別について学ぶ組み、「つべつ学」の取り組み。高校入り口の決め、今年4月から

国道沿いには、白地に筆文字で「北海道津別高校」と書かれた三角錐の看板があがる。文字がかされ、消えかかっている箇所がある。

このため、3年生は、2年生だった昨年のつべつ学成績報告会で新しい看板の制作を提言。新しい看板は木製の両面式板は縦0・9m、横1・8m。



カラマツの丸太ベースに  
「まる太くん」もあしらい